



春日新50年プランによるまちづくり

Vol. 25

魅力ある春日の未来図を実現するため、(A)市民活動拠点の整備、(B)都市機能の向上推進、(C)歴史自然景観の整備の3つの視点(プラン)による都市づくりを推進していきます。



▲春日新50年プラン



須玖岡本遺跡の整備を進めています

弥生時代の最も先進的な大国だったとされる「奴国」。その中心部として全国的に知られているのが同遺跡です。

市は、同遺跡を「地域の宝」として大切に保存・活用し、次世代へ継承するため「史跡公園」としての整備を進めています。

歴史を身近に感じながら、地域の皆さんが日々の暮らしの中で住みよさを実感できるような「憩いの場」となることを目指しています。

○令和8年7月中旬、王族墓エリアがオープン

王族の集団墓が地下に保存されている同エリアは、同遺跡の中でも最も重要な場所の一つであり、県道に面した同遺跡北側のエントランス(入り口)でもあります。

同エリア内には、遺跡の詳しい解説板や多目的広場、休憩所、ベンチなどが整備されています。広場の周りには芝生が敷き詰められており、地面が円形や四角形に盛り上がっている部分は、発掘調査で王族の甕棺^{かめかん}が見つかった場所です。

○令和8年度中、熊野神社北エリアがオープン予定

同エリアには、休憩所、芝生広場、遺構解説などを整備し、憩いの場を形成します。令和8年度中にオープンする予定なので、楽しみにしてください。



▲北東側から見た史跡公園



▲北西側からのアプローチ

問い合わせ先 文化財課調査保存担当 ☎(501)1144 ☎(573)1077